



や ず ち ょう
八 頭 町

議会だより

第83号

鳥取県八頭町議会
令和7年11月発行



船岡児童クラブが隼駅へ遠足

注 目 の 記 事

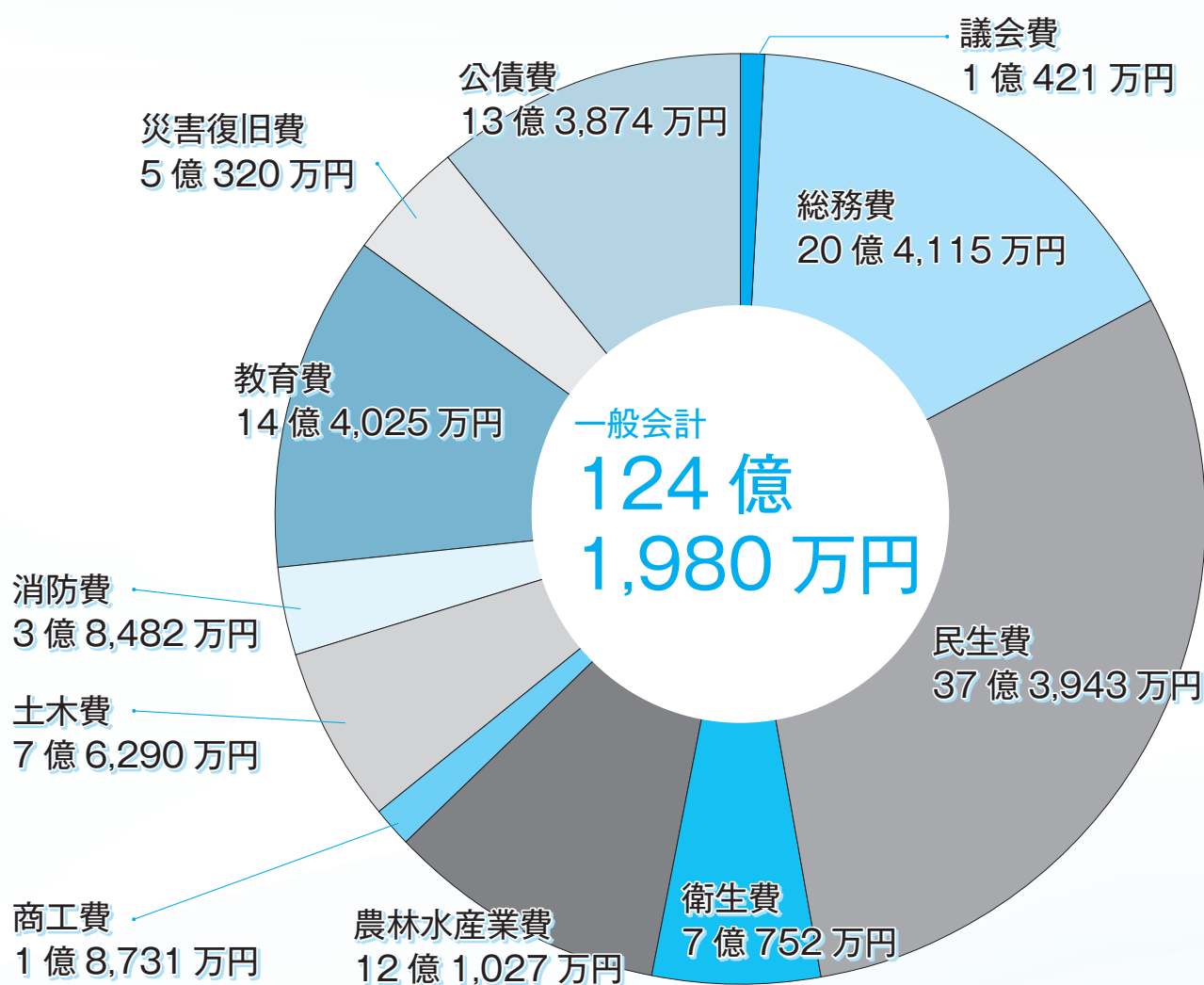
- | | | | |
|------------|-----|--------------|-------|
| ■ 9月定例会 | 2～5 | ■ 議会報告会 | 10 |
| ■ 委員会視察の報告 | 8 | ■ モニター会議 | 10 |
| ■ ぎかいのうごき | 9 | ■ 一般質問ダイジェスト | 12～21 |

右のQRコードから「議会だより」が見られます。



一般会計決算 124 億円余り

令和6年度の決算審査では、特別会計を含む約167億6,900万円余りの支出を審議しました。そのうち一般会計の支出は124億1,980万円で、当初の予算から7億5,980万円の増加となりました。



ふるさと納税促進事業

1 億 6,465 万円

八頭町産品を返礼品とするとともに体験活動も実施され、大幅な増額となった。

地域おこし協力隊事業

3,107 万円

新規に2人採用し、合計8人体制となり、地域に根差した活動により地域の活性化に繋がった。

令和6年度

どう使われたか

事務事業評価

八頭町議会では、各事業の目的を明確にし、その妥当性・有効性・効率性を評価し、次年度以降の事業計画や予算編成に活用していくよう、毎年10事業程度を選定し、集中的な審査をしています。

空き家対策事業

1,270 万円

管理不全な空き家の除却費用の補助を8件実施し、周辺の生活環境と安全の保全が図られた。

移住定住推進事業

1,925 万円

各種空き家改修支援や住宅リフォーム等に加え、家財道具等の処分費補助の新設により、住環境整備が支援された。

重層的支援体制整備事業

2,004 万円

相談支援専門職を配置し、事業内容の検討等を行い関係機関との連携による相談支援体制が構築された。

若桜鉄道対策費

1 億 6,017 万円

第3種鉄道事業者として、若桜町とともに軌道、車両の維持管理および整備改良を行い、年間を通して鉄道の安全旅客輸送が確保された。

野生鳥獣被害防止事業

5,210 万円

捕獲奨励金により、有害鳥獣の捕獲が促進された。生息頭数は増加傾向にあり、農業被害を抑制するために今後も事業を推進していく必要がある。

森林環境整備事業

4,214 万円

森林経営管理制度に基づく意向調査や経営管理集積計画が策定された。また、誕生祝いとはたちの祝いに町産木材品が贈呈され、木育が促進された。

公園管理費

1,251 万円

八東川水辺プラザ河川公園の使用料は前年対比22.9%の減少となったが、公園の維持管理を行い、生活環境の充実が図られた。

放課後児童クラブ運営費

3,226 万円

仕事と家庭の両立支援と児童の健全育成が図られており、利用者の拡充に繋がった。

令和6年度 特別会計決算額（主なもの）		
項 目	歳 入	歳 出
国民健康保険	18 億 5,774 万円	17 億 8,782 万円
介護保険	24 億 7,482 万円	22 億 7,830 万円
宅地造成	320 万円	293 万円
墓地事業	210 万円	47 万円
後期高齢者医療	2 億 8,050 万円	2 億 7,913 万円

令和6年度公営企業会計		
【簡易水道事業会計】		
収益的収入及び支出 (維持管理に係る収支)	収入	3 億 6,384 万円 (水道料金、一般会計繰入金等)
	支出	3 億 5,893 万円 (給水に係る経費、減価償却費等)
資本的収入及び支出 (施設建設等に係る収支)	収入	4,689 万円 (一般会計繰入金、企業債等)
	支出	1 億 3,067 万円 (工事請負費、企業債償還金等)
※収支不足額は引継現金、当年度損益勘定留保資金で補填。		
【下水道等事業会計】		
収益的収入及び支出 (維持管理に係る収支)	収入	9 億 1,888 万円 (下水道使用料、一般会計繰入金等)
	支出	9 億 1,145 万円 (汚水処理に係る経費、減価償却費等)
資本的収入及び支出 (施設建設等に係る収支)	収入	8 億 4,552 万円 (一般会計繰入金、国庫補助金等)
	支出	8 億 4,894 万円 (工事請負費、委託料等)
※収支不足額は引継現金で補填。		

陳情の審査結果

件 名	提 出 者	審査結果	理 由
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2026 年度政府予算に係る意見書採択の陳情	鳥取県教職員組合 東部支部 支部長 大黒 晃嗣氏 ほか 1 名	採 択	陳情の趣旨を認めた。
「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の陳情	鳥取県教職員組合 東部支部 支部長 大黒 晃嗣氏 ほか 1 名	不採択	県教育委員会から本町にも児童生徒の実態や指導体制に応じた適切な授業時数の設定、学校行事の精選や業務の効率化等の対応が求められており、国への意見書提出までは必要ないと判断したため。

9月定例会議案

補正予算（主なもの）

渇水対策事業費補助金

400万円

渇水の被害を最小限にとどめて
農業経営の安定及び作物の品質低
下の防止を図るもの

・水中ポンプリース

・エンジン付ポンプ購入リース

・軽トラックリース

※農業担い手、2者以上での共同
利用者

事業者負担 1/3

八東地区コミュニティ センター整備事業（設計業務）

2,173万円

旧八東小学校
の跡地に地域住
民からの要望を
受け、地区コミュ
ニティセンター
の建設のための
設計業務の委託
料として予算が
追加されたもの



デマンド交通実証事業

（八東地域）

234万円

公共交通機関による移動手段の
確保が困難な交通空白地の解消と
日常生活の利便性向上を図るため
八東地域デマンド型交通実証が行
われるもの

【実証期間】

令和7年10月～2カ月間

【運行区間】

八東地域限定

【運行時間】

平日の9時～16時

【予約】

日交予約受付センター

（0858-73-0111）

電話予約



防犯対策事業

150万円

60歳以上の方がお住まいの世帯
が防犯カメラ等を購入、設置され
る場合に1世帯あたり上限1万
5,000円が助成されるもの



議員発議

議員定数・報酬調査特別委 員会を設置

議員定数・報酬に関する事項に
ついて、調査検討を行うため、議
長を除く13人で令和7年9月18日
付けで発足をした。

【委員長】

灘口 茂郎 議員

【副委員長】

川西 聡 議員

委員長のコメント



灘口委員長

この春の無投票で
の当選を深刻な事態
と捉えている。危機
感を共有し、人口減
少の中で議会運営を
推進していくために、
定数、報酬がどうあ
るべきか調査したい。

八頭町議会議員定数・報酬の推移

年	定数	報酬	選挙 立候補者
2005	21人	206,150円	33人
2009	18人	206,150円	19人
2013	16人	217,000円	17人
2017	14人	217,000円	14人
2021	14人	217,000円	21人
2025	14人	237,000円	14人

議案等議決結果 (第7回定例会)

※採決は13人（川西議長は除く。）で行う。議案等の採決は賛成「○」、反対「×」で表記。欠席は「⊗」で表記。

議案等 番 号	議 席 番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結 果
	件 名	森 亜 紀 子	小 原 徹 也	尾 島 勲	田 中 俊 光	谷 本 正 敏	山 根 張 太 郎	岡 嶋 正 広	奥 田 の ぶ よ	高 橋 信 一 郎	矢 部 啓 祐	中 原 幸 恵	川 西 聡	灘 口 茂 郎	
73～105	八頭町財産区管理委員の選任（その1）～（その33）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
106	町有財産（土地・建物）の処分（富枝集落公民館）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
107	八頭町集落公民館条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
108	八頭町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
109	八頭町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
110	八頭町立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
111	八頭町浄化センター施設条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
112	八頭町農業集落排水施設条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
113	令和7年度八頭町一般会計補正予算（第3号）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
114	令和7年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
115	令和7年度八頭町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
116	令和7年度八頭町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
117	令和7年度八頭町篠波財産区特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
118	令和7年度八頭町簡易水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
119	令和7年度八頭町下水道等事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
120	令和6年度八頭町一般会計歳入歳出決算の認定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
121	令和6年度八頭町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
122	令和6年度八頭町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
123	令和6年度八頭町宅地造成特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
124	令和6年度八頭町墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
125	令和6年度八頭町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
126	令和6年度八頭町上私都財産区特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
127	令和6年度八頭町市場、覚王寺財産区特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
128	令和6年度八頭町上津黒、下津黒財産区特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
129	令和6年度八頭町篠波財産区特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
130	令和6年度八頭町大江財産区特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
131	令和6年度八頭町簡易水道事業会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
132	令和6年度八頭町下水道等事業会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
133	福地谷川災害復旧工事（第440号）請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情第7号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情書	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第8号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の陳情書	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	不採択
発議第4号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2026年度政府予算に係る意見書の提出	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第5号	議員定数・報酬調査特別委員会の設置	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

令和7年度 議会活動（議会・委員会・研修会等）の出欠数一覧

【令和7年6月25日～9月18日】 ※第6回臨時会終了後から第7回定例会終了まで

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
議員名		森 亜紀子	小 原 徹也	尾 島 勲	田 中 俊光	谷 本 正敏	山 根張太郎	岡 嶋 正広	奥 田のぶよ	高 橋信一郎	矢 部 啓祐	中 原 幸恵	川 西 聡	灘 口 茂郎	川 西美恵子
鳥取県町村議会広報研修会（7/25 三朝町）	出席	1		1	1			1	1		1			1	
総務教育常任委員会県外研修（7/30 京都府精華町）	出席	1	0		1		1	1	1	1	1	1	1		1
	欠席		①												
産業福祉常任委員会町内研修（8/6 船岡保育所）	出席	1		1		1	1	1				1		1	
鳥取県町村議会女性議員研修会（8/4 湯梨浜町）	出席	1							1			1			1
	欠席														
全国町村議会広報研修会（8/28 東京都）	出席			1	1			1							
	欠席														
全国市町村国際文化研修所研修 （7/28、7/29、8/7、8/8 滋賀県）	出席			2					2		2				
	欠席														
議会モニター会議（8/29）	出席	1		1	1		1		1		1	1		1	1
	欠席														
第7回定例会、会期は14日間 （9/5～9/18）※本会議は4日間	出席	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	欠席		①病												
議会運営委員会（5回）	出席	5		5	5		5		5		5				
	欠席														
総務教育常任委員会（3回）	出席		3		3				3	3	3		3		3
	欠席														
産業福祉常任委員会（3回）	出席	3		3		3	3	3				3		3	
	欠席														
予算決算常任委員会（3回）	出席	3	0	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	欠席		③病												
全員協議会（6回）	出席	6	2	6	6	5	6	6	6	5	6	6	6	6	6
	欠席		④病			①				①					
議会広報委員会（6回）	出席	6		6	6			6	6		6			6	
	欠席														
議会報告委員会（4回）	出席		0			4	4			4		4	1		3
	欠席		②										③		①公
	病		②病												
議会意見交換会（1～8回）	出席	1	0			7	7		1	7	1	7	8	1	1
	欠席		⑤												
議会DX委員会（2回）	出席	2		2					2		2			2	
	欠席														
議会活動（出席依頼等）	出席	1		1					1		2			5	16
	欠席														
出席数	日	36	8	36	31	27	35	26	37	27	37	31	26	33	39
欠席数	日	0	⑧	0	0	①	0	0	0	①	0	0	③	0	0
議会活動合計	日	36	16	36	31	28	35	26	37	28	37	31	29	33	39
（遅刻・早退数）	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
※出席率（出席数/議会活動合計）	%	100	50	100	100	96	100	100	100	96	100	100	90	100	100
公務欠席数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	①
病欠席数	日	0	⑩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【全体(令和7年4月24日～9月18日)】

出席数	日	81	22	79	73	52	72	58	82	53	82	59	52	76	90
欠席数	日	0	⑨	0	0	②	0	0	0	②	0	0	③	0	0
議会活動合計	日	81	41	79	73	54	72	58	82	55	82	59	55	76	90
（遅刻・早退数）	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	①	0	0
※出席率（出席数/議会活動合計）	%	100	54	100	100	96	100	100	100	96	100	100	95	100	100
公務欠席数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	①
病欠席数	日	0	⑪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※公は兼務の公務による欠席 ※病は診断書に基づく病欠席 ※出席率は小数点1位を四捨五入した。 ※遅刻・早退は出席数に含む。

右の QR コードから「各議員の詳しい出欠状況」が、ご覧いただけます。





議会運営の先進地を視察

出席議員

矢部、田中、奥田、高橋、川西聡、川西美、(オブザーバー参加)：森、山根、岡嶋、中原

京都府精華町

平成 28 年に全国町村議長会の「特別表彰」を受賞され、町議会でも会派制を設け、政策提言力や議員個人の能力を高める取組を視察したもの



所 感

- 精華町の議会及び議員の活動原則は「通年議会」であった。メリットは十分時間をかけて審議出来ることであった。本町では専決処分はほとんどないので通年議会と変わらない。スケジュールは組みやすいと感じた。
- 討議して出された結論を、具体的な政策提言書として町長に提出すること、それを議会だよりで町民の皆さまへお知らせすることで、議会が活性化するように感じた。

総 括

精華町の特徴的な取組に対して、議員個々の意見があり、八頭町議会でも取り入れるかどうか賛否もあったが、いずれにせよ町民のために取り組んでいる開かれた住民参加型の議会を目指す方向は共有できた。



保育所の完全給食の様子を視察

出席議員

森、山根、尾島、谷本、岡嶋、中原、灘口

船岡保育所

米飯給食の現状を視察した。

お米の調達

八頭町内の事業所から米を購入している。

子どもたちの反応

炊き込みご飯などの味付きごはんは食べるのが早く、喜んで食べている。

保護者の反応

夏場は、ごはんが腐るのではないかなど心配だったが米飯給食になって安心している。ごはんを準備する負担が減り、ありがたい。

所 感

- 子どもたちが給食に関心を寄せ、教育的にも食育の効果が見られた。
- アレルギーの対策や異物混入防止など安全管理に細心の注意が注がれていた。町内保育の現状を知ることができた。
- 米飯給食のほか、保育業務支援システムを活用し、保護者との情報共有や、登降園管理が行われており、今後も有効に活用していただきたい。
- これから、米を含む食材の価格高騰が懸念されるが、安全な給食の提供により子どもたちが町内産食材で健やかに成長してほしい。



ぎかいのうごき



令和7年

6月 24日	議会運営委員会
26日	議会広報委員会
30日	郡家西小学校議会見学
7月 1日	議会報告委員会、議会広報委員会、産業福祉常任委員会、全員協議会、予算決算常任委員会 第75回社会を明るくする運動街頭啓発活動 東部広域構成議会議長会懇談会（鳥取市）
3日	議会意見交換会（中私都まちづくり委員会） 議会広報委員会
7日	議会広報委員会
8日	議会意見交換会（丹比まちづくり委員会、八東まちづくり委員会、小中学校PTA連絡協議会）
9日	議会広報委員会
10日	議会意見交換会（東郡家地区まちづくり委員会、観光協会、商工会、上私都まちづくり委員会）
11日	鳥取県町村議会議長会定期総会（米子市） 2025年原水爆禁止国民平和大行進
12日	八東ふるさとの森まつり
14日	津山智頭八東線道路整備促進期成会総会（智頭町）
15日	議会意見交換会（老人クラブ連合会、男女共同参画推進会議）
17日	議会DX会議、議会意見交換会（大門の農地を守る会） 令和7年度智頭線利用促進協議会総会（智頭町）
22日	議会意見交換会（身体障害者福祉協会、心身障害児（者）保護者育成会、家族会、女性団体連絡協議会）
24日	議会意見交換会（民生児童委員会協議会）
25日	鳥取県町村議会広報研修会（三朝町）
26日	八東解放文化祭
28～29日	全国市町村国際文化研修所研修（滋賀県）
29日	議会報告委員会
30日	総務教育常任委員会視察（京都府精華町）
31日	第41回鳥取県反核・平和の火リレー
8月 1日	議会意見交換会（船岡まちづくり委員会）
2日	第26回八頭カップ少年野球交流大会
4日	令和7年度鳥取県町村議会女性議員研修会
5日	全員協議会

6日	産業福祉常任委員会町内視察（船岡保育所）
7日	全国市町村国際文化研修所研修（滋賀県）
10日	第15回隼駅まつり
12日	議会意見交換会（農業委員会）
19日	議会運営委員会 小学生議会見学 民生委員推選会
20～21日	東部広域行政管理組合議会管外視察（岡山県倉敷市・岡山市）
21日	議会報告会
22日	議会運営委員会 総務教育常任委員会、産業福祉常任委員会
23日	令和7年度八頭町身障協会・育成会・家族会合同体育大会
23日	第19回八頭町きらめき祭り
25日	令和7年度八頭町表彰審査委員会
27日	総務教育常任委員会
28日	町村議会広報研修会（東京）
29日	議会報告会、議会広報委員会、議会DX委員会、 全員協議会 議会モニター会議
9月 5日	第7回八頭町議会定例会（第1日目） 総務教育常任委員会 産業福祉常任委員会
6日	八頭中学校運動会
8日	予算決算常任委員会
9日	予算決算常任委員会
10日	全員協議会（連合審査） 全員協議会
11日	第7回八頭町議会定例会（第2日目）
12日	第7回八頭町議会定例会（第3日目）
16日	議会運営委員会 全員協議会
18日	第7回八頭町議会定例会（第4日目） 議会運営委員会

議会報告会を開催します (11/29)

日時 11月29日 午後6時～

場所 船岡庁舎2階 第1、2会議室



昨年の様子

議会の活動状況の報告や、各種団体の意見、要望に対する回答などを報告させていただきます。

どなたでも参加していただけますので、多くの方のご参加をお待ちしています。

議会モニター会議を開催しました (8/29)

日時 8月29日 午後7時～午後8時30分

場所 船岡庁舎委員会室

出席者 議会モニター 6人

議員 9人

(議長、副議長、各委員長、副委員長)



いただいたご意見と議会の対応

①タブレット使用に対して

- ・全議員がタブレットを使用すべきである。
- ・郵送料、紙代など経費を削減すべきである。

議会対応

DXを推進していることから再度全議員に使用していくよう働きかけます。

②議会活動の出席率について

- ・欠席が多い議員があるが、議会活動に問題はないのか。
- ・同じ報酬が支払われているのか。

議会対応

欠席が多い議員に対しては出席するよう促します。

③町内イベント参加について

- ・町内で行われている各種行事やイベントに議員も参加して欲しい。

議会対応

可能な限り積極的に参加を促します。



会議では、ほかにもたくさんのご意見をいただきました。議会全体で共有し、より身近に感じられる開かれた議会にするよう努めてまいりたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。

ここが聞きたい

一般質問

10人が
一般質問
しました。



QRコードを読み
込むと、YouTube
動画でご視聴いた
だけます

質問者	質問事項	頁
岡嶋 正広	農業振興施策	12
	林業振興施策	
矢部 啓祐	八頭町キャッシュレス決済導入事業	13
	立地適正化計画の策定	
奥田のぶよ	小中校生の通学	14
	文化財保存活用地域計画	
田中 俊光	農業振興	15
	商工業振興	
小原 徹也	義務教育からおよぶ社会	16
山根張太郎	魅力ある住んでみたいまちづくり	17
川西 聡	ゼロカーボン及びカーボンニュートラル対策	18
	補聴器購入時の助成	
森 亜紀子	公共施設等	19
	孤独、孤立対策	
中原 幸恵	難聴者支援	20
尾島 勲	防災減災の手段、及び発災時以降の対応	21

一般質問とは



議員が行政全般にわたり、町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問することをいいます。

議員 1 人当たりの質問時間は 30 分です。(執行部側の答弁は時間に含まれません。)

議会だよりに掲載している内容は、質問者自身が要約し、広報委員会が校正したものです。

議事録は、議会ホームページのほか、議会事務局、各庁舎、図書館でもご覧いただけます。

農業振興施策

農業の将来像は

町長／次の世代へと継承し続ける持続可能な農業だ



岡嶋 正広 議員

質問

本町の農業の将来像をどう描いているか。

答弁

吉田町長

農業は食料を生産し、食は私達の体を構成し健康を維持する上で極めて重要な産業だ。魅力ある農業、もうかる農業となるよう明るい展望を切り開くとともに、農地・農業基盤などの地域資源を次の世代へと継承し続ける持続可能な農業でなければならない。

質問

水田農業は

①スマート農業の振興は、農業団体及び大規模農業者向けの施策であって小規模農家向けの施策にならないと思うが。

②水不足に対する今後の対応は。

答弁

吉田町長

①中山間地域等直接支払い交付金

はスマート農業加算が新設された。これらの施策を通じて支援体制を設け営農継続を支えたい。

②県ではポンプのリースや購入費用等を補助する渇水対策緊急事業を創設し、本町でも本事業を活用し負担軽減に努めたい。

恒常的にという事については、そのケース・バイ・ケースで考えたい。

質問

果樹農家の育成は

①トレーニングファームの事業の現状は。

②今後の展望と課題は。

答弁

吉田町長

①令和6年10月から1期生1名、本年度10月から2期生1名が準備を進めている。

②優良果樹園の確保と、苗木植栽の為の農地の確保が重要だ。有用な農地確保に努めたい。

林業振興施策

森林・林業の課題は

町長／従事者の確保と利用促進に取り組みたい

質問

本町の森林及び林業の現状と課題をどう捉えるか。

答弁

吉田町長

森林整備及び林業経営が順調に推移しているわけではない。森林整備の遅れや林業従事者の確保、木材の利用促進等関係者と連携し解決に向け取り組みたい。

質問

山林を守る地域団体等への支援策及び林業就業者・技術者の育成支援についての考えは。

答弁

吉田町長

林道の草刈とか、側溝・路面の清掃は集落と委託契約を締結し、作業を行なっていた。育成支援については担い手育成補助金を支給している。

質問

小中学校での森林環境教育の取り組み状況について伺う。

答弁

吉田町長

小学校5年生で森林の働き、森林資源の活用を学習している。中学1年生で環境保全と産業の振興の両面から学習している。

その他の質問

・夏場のスクールバス通学
・坂町集落内の排水路整備



手入れされた森林資源 大江地内

キャッシュレス決済

買物をする事で地域に
繋がる仕組みづくりを

町長／考えていくことは
可能だと思う



矢部 啓祐 議員

質問

①今年度の主要事業にも挙げられているキャッシュレス決済導入事業の現在の進捗と今後のスケジュールは。
②「他のキャッシュレス決済との違いを明確化すること」と「住民意識の醸成」が重要と考えるが。

答弁

吉田町長

①令和5年12月から先進地域の視察を行った。本年度は6月に準備協議会を発足し、8月にキャッシュレスシステムの方向性をデジタルポイントシステムで進めるよう決定した。実証期間を経て、導入に向け、関係機関と調整していく。
②デジタルポイントシステムで整備後も事業者や住民ニーズに応じて、持続可能な利用形態としたい。準備協議会の加盟団体だけでなく、各地域で出前説明会等を開催する予定にしている。

質問

買物をする度に地域につながる仕組みができないか。例えば事業者利用額（決済手数料）の一部を還元し、体育館にエアコンを整備する資金につながる等、北海道の江差町では事業者利用額の0.2%を町に還元し、地域住民に必要な機能を提供する仕組みがある。

答弁

吉田町長

まずは説明会を実施していきたい。その中で提案があったことも、考えていくことは可能だと思う。



北海道の江差町の取組

立地適正化計画

ネットワーク型コンパクト
シティ構想を

町長／それぞれの拠点施設の
調整が課題だ

質問

①本年度から3年間で策定を進める計画だが、今後の展望と時間軸のアクションプランは。
②町の総合計画や総合戦略などの各種計画との融合は。
③人口5万人未満の自治体の全国的な傾向である
「人員体制が十分ではない」
「住民意識の醸成が十分でない」
「予算が十分ではない」

答弁

吉田町長

①R7年度は、計画の検討準備として、必要な資料収集と将来居住誘導区域の検討を行う。R8年度は素案策定に取り掛かり、関連計画の整理、現状分析・課題整理、基本的な方針の検討などを行う。R9年度は、誘導施策の検討、防災指針、各種会議、住民意見の聴収を行い、策定する予定だ。
②各種計画、施設の在り方など整

合性を図っていく。

③人員体制は、役場内でワーキングチームの編成を念頭におきながら、コンサルタントを活用する。各種会議、意見の聴取・説明での対応で住民意識の醸成を図る。予算については、国土交通省に十分な措置をお願いしている。

質問

八東・船岡・郡家などの分散配置の複数拠点を軸に考える「ネットワーク型コンパクトシティ」を中心に考えてみては。

答弁

吉田町長

都市計画区域を基本に考えるのが、今回の立地適正化計画だ。計画の基幹区域は河原も入っている。それぞれの拠点施設をどう調整していくかが課題だ。

小中学生の通学

自転車からバスに通学方法を変更できるのか

教育長／6キロの
線引きがあり難しい



奥田 のぶよ 議員

質問

- ①各集落やPTAからの通学路に
関しての要望は。
- ②郡家部落内の町道は通学路で
ゾーン30等の対策を考えないか。
- ③通学や下校時の熱中症対策は。
- ④通学時の不審者や鳥獣対策は。

答弁

吉田町長

- ①関係機関からなる八頭町通学路
安全推進会議を年2回開催し危険
箇所等の点検等を確認している。
- ②郡家集落内など、主な通学路は
制限速度を30kmとなっている。通
行する行為に対する抑制等の安全
対策もあり、ゾーン30にこだわる
必要はないと考える。

答弁

藪田教育長

- ③積極的な水分補給、帽子の着用
など指導している。暑さが厳しく
なり日傘の使用は検討課題だ。
- ④小学校では「きょうはイカのお
すし」という言葉を共通して指導



郡家集落の通学路

している。

鳥獣対策は発達段階に合わせた
対処方法を指導している。

質問

熱中症対策で自転車からバスに
通学方法を変更できるか。

答弁

藪田教育長

6キロの線引きがあり難しい。
少し時間が欲しい。

文化財保存活用

文化財保存活用地域計画を 取り入れては

町長／作成は負担が大きい側面もあり
まだ検討中だ

質問

文化財保存活用地域計画は各市
町村において取り組んでいく目標
や取組の具体的な内容を記載し
た、文化財の保存活用に関するマ
スタープラン兼アクションプラン
だ。本町でも取り入れてみては。

答弁

吉田町長

平成30年度に制度が創設され、
全国は12%の作成状況だ。県内は
3市町だ。現在、意見交換が行わ
れている。作成自治体の意見は、
一貫した文化財活用の施策が実施
できとある一方、事務負担が過重
であるというマンパワー不足を指
摘する声や、柔軟な対応ができな
いという、作成は負担が大きい側
面もあり、本町はまだ検討中だ。

質問

この計画は保存と活用が入って
いる。文化財を活用し地域の観光
資源とする。まちおこしや地域コ



安藤伊右衛門碑

答弁

吉田町長

計画策定は地域の活性化や観光
につなげるということが目標にあ
るが、専門的な見地が必要だ。
様々な意見を伺いながら教育委
員会と話をしてみたい。

ミニニティの連携強化などが期待
できると思うが。残さないと消え
るものもある。20周年を迎えるに
当り作成を考えてみては。

農業振興

果樹トレーニングファームの進捗状況は 町長／就農研修生を昨秋から 確保育成中だ



田中 俊光 議員

質問

今年の果樹は早い梅雨明けもあつて高温少雨による小玉傾向だと選果場関係者から聞いているが、これに対する町としての施策はないか。

答弁

吉田町長

県と連携して、渇水対策緊急事業として生産者が新しく購入された給水ポンプ等の購入費用等に補助したいと思う。

質問

昨年10月に開講した八頭町果樹トレーニングファームの進捗状況について伺う。

答弁

吉田町長

農業公社を中心とした研修期間として昨年1名を人材確保育成中で、梨と柿の栽培技術を研修中だ。本年も1名を人材確保した。

質問

八東地区に住み梨を中心に八東の生産者に指導を受けているため、花御所柿の指導は受けていないと聞いている。また、毎年1名ずつの人材確保というのは少なくはないか。

答弁

吉田町長

決して1名ずつでいいとは思っていない。来年以降2名、3名の人材確保ということになれば、花御所柿の栽培研修にも広がると期待している。



トレーニングファームの研修の様子

商工業振興

郡家駅北側への自由通路は 実現可能か 町長／立地適正化計画策定内で 検討したい

質問

今年6月20日に郡家部落長から提出された郡家駅南側と駅北側を結ぶ自由通路に関する陳情についてだが、1,700名余りの署名があったと聞いた。郡家駅北側の開発とあわせて、町長の所見を伺う。

答弁

吉田町長

郡家駅周辺の開発に関しては、立地適正化計画の策定内で検討していきたい。令和7年度から3年間で策定するマスタープランで、持続可能な都市構造を目指すものだ。自由通路も、この計画の中で検討したい。

質問

自由通路ができれば郡家駅北側に八頭高生が列車の待ち時間等に利用できる図書館をとの要望もあると郡家部落長から聞いているが、町長の所見は。

答弁

吉田町長

これも立地適正化の計画に関連すること、内容についてはこれからだ。

質問

郡家駅への交通手段としてやずバスのルート変更に関して、堀越から門尾、下門尾、賀茂町へとつながるバス路線の新設は出来ないか。

答弁

吉田町長

現在の運転手不足の状況では難しい。10月から開始される八東地域を拠点としたタクシーの実証実験を経てどういった形がいいのか時間をいただきたい。

義務教育から 及ぶ社会

今の社会の現状は 教育にあるのではないか

町長／一般的に学力を重視する
傾向にある



小原 徹也 議員

質問

社会や家庭では「勉強をして、いい学校に行かないといい会社就職できない」と無意識に教育現場や家庭で言われてきた。

今の社会の現状は、「教育にあるのではないか」と言われているが。

答弁

吉田町長

一般的に、就職において大企業などでは、学力を重視する傾向にあり、親は子供の将来を考え、そのように言うことがあるかと思う。

このことが受験戦争を劇化させ、子供たちに過度なプレッシャーを与え、精神的なストレスを増大させる可能性もあると思う。

質問

日本には、昔から「修身教育」「道徳教育」の教えがある。修身では、忠孝仁義や目上を敬う親孝行・友

情など。道徳とは、友情・公正公平・誠実とある。

しかし学校指導要領では、人間としての在り方より「知識・技能・思考力・表現力学びに向かう力」を教えるように指導されている。

今、日本では教育と勉強が混同した結果、5教科学習が教育になっている。

教育とは何か、何が起きているのか。

答弁

吉田町長

本町は、町民一人ひとりを取り残さないように児童生徒に寄り添った取組を行っている。

質問

いい学校（高校・大学）に行かなければ、いい会社就職できないと無意識に子供に言うことが、社会にどういう影響や結果を生じさせているのか。その認識は。

答弁

吉田町長

高学歴であることは、必ずしも社会的に重要なことではないと考える。

高い学力を身に着けることにより、将来希望する職業に就く選択肢を増やすことにつながると考える。

質問

報道調査では、大学を卒業後は経営者になりたいと答える方が多い。

社会では、在宅で仕事ができる環境整備が整えられ、パソコンのキーボードをたたいて仕事をする方が増え、汗をかく現場労働より、机の上で指示する側を目指す方が増えることで危惧されることは何か。

答弁

吉田町長

社会には、いわゆるホワイトカラーとブルーカラー、また経営者と従業員など、様々な職種や雇用体系で成り立っている。

社会は目まぐるしく変化しており、機械やロボット・人工知能などの進化により、仕事の在り方も変化するなかでAI等が行うことになると思定される。

そのような変化の中で、人と人

のつながりが希薄にならないような社会にしなければならないと思う。



福澤諭吉の学問のすゝめ

魅力あるまちづくり

郡家駅を含む地域に複合施設を新設しては

町長／立地適正化計画の中で検討していく予定だ



山根張太郎 議員

質問

新庁舎建設の進捗状況は。

答弁

吉田町長

昨年度、職員で構成するワーキンググループを設置し、庁舎に必要な機能や設備を整理し、その報告を基に検討を進めている。検討内容は鳥取県とも共有し、事務レベルで調整を行っている。現状において県は、八頭町の意向と八頭庁舎の耐用年数等を考慮し、建て替え等について、総合的に判断すると伺っている。今後県と出来る調整を行い、庁舎建設を前に進めていきたいと考えている。

質問

新庁舎に仮に行くとするれば、どのような規模なのか。また、防災機能の今の段階で分かる内容は。

答弁

吉田町長

ワーキンググループでいろいろ

質問

郡家駅を含む地域に、福祉のまちにふさわしい複合施設を新設しては。

答弁

吉田町長

郡家駅については、平成27年3月、現在ののぶらつとびあに改築されたものの、周辺の大規模開発等に至っていないが、本年7月末には郡家駅前内科・胃腸内科のこおげ駅前クリニック、大村薬局こ

質問

全国的にも駅を中心にしたコンパクトシティ化は進んでいるように見える。町民の利便性を考えたときに、今一度、郡家駅を中心にした複合施設の設置について、意見を伺う。

答弁

吉田町長

実は新庁舎にも複合施設をつけようという意見もある。駅や駅裏でそういった施設をするのか、まだまだこれからの話だ。商圏ベースについては、国道29号線を中心とした事業が展開されているので、その辺りとの兼ね合いも出てくると思う。

質問

人口減少対策としての本町の移住・定住対策は。

答弁

吉田町長

本町の社会増減は、おおむね毎

年100人程度の減少という状況だ。人口の減少に伴い、町内には空き家が増えつつある中で、本町では空き家活用等による移住・定住促進に力を入れており、一般社団法人YYPが運営する空き家バンク等を通じて、就業・就農支援等と一体的に行っている。

「第二期八頭町総合戦略」取組前には494人いた転出者は徐々に減少してきており、昨年度は365人であったので、転出者と転入者数も少しづつ拮抗してきている状況にある。今後も、こうして取組をはじめ、子育て施策の充実により、町内定住と移住の促進を図って行きたい。



開発の進む郡家駅前

CO₂排出対策

カーボンゼロ宣言を するべきでは

町長／本町の実行計画の
進捗状況と併せて検討する



川西 聡 議員

質問

①第4期八頭町地球温暖化対策実行計画（令和5年3月策定）の主な取組の内容について問う。
②CO₂の実質ゼロを目指す「カーボンゼロ宣言」への所見を問う。

答弁

吉田町長

①ガソリン等の燃料や電気等の使用量の削減。
紙・水道等の使用量や可燃物の排出量削減。リサイクル推進。
グリーン購入の推進や照明器具の取替え実施。
町内各施設への可燃物処理施設から発電される余剰電力の切替え実施。

以上が取組の内容だ。

②右記計画の取組の進捗状況の点検と併せて検討していきたい。

質問

②カーボンゼロ宣言をした自治体の数は、令和4年6月定例会で質問した時には約700だったが、



CO₂対策の一環～E V自動車～

答弁

吉田町長

支援体制に入っている内容を承知していない。本町の事業が支援の対象となり得るかの有無も分からないので調査する。

あれから約300増えて1000幾らになっている。

国はカーボンゼロ宣言をした自治体を優先的に支援の対象にしている。国の政策に乗るべきでは。

補聴器購入助成

令和8年度での予算措置を

町長／予算に盛り込めればと考えている

質問

①以前に一般質問をしたが、町長は「いろいろ検討する」との答弁だった。来年度の予算措置は。

②同じ質問で、特定検診への対応に對しては「調査をして対応が出来るようであれば対応したい」との答弁だった。聴力低下は生死を左右するリスクも増加する。調査の結果と今後の対応を問う。

答弁

吉田町長

①先回、「将来的には」との気持ちを答弁した。少し時間を頂いて対応出来ればと考えている。

②近隣にはないが、全国的には個別に検診を実施している自治体が若干あると承知している。

独自に実施する場合は検診機関の確保等の実施体制の整備を初め、精密検査機関となる専門医の協体制が必要であり課題がある。

質問

①先回の質問から何を検討したのか。これからの検討というのはおかしくはないか。

答弁

吉田町長

①検討は新年度予算に向けてだ。対象年齢や医師の判断、助成金額等を検討して予算に盛り込めればと考えている。

質問

①東京都千代田区は、平成23年度から何度も制度改正を行い扱い易い内容の更新をしている。静岡県長泉町は役場の職員が発案、平成24年からスタートしている。町長の強い決意を求めるものだが。

答弁

吉田町長

①役場は町民のために役立つ場所であるべきだと考えている。

※その他の質問

会計年度任用職員

公共施設等

旧八東小学校の跡地は

町長／地域に親しまれる
施設づくりをしたい



森 亜紀子 議員

質問
①新庁舎の協議の進捗状況は。また、町民の意見の集約の予定は。
②旧八東小学校の跡地の活用は。
③郡家駅前駐車場及び郡家駅周辺の活性化と町長の構想は。

答弁 吉田町長

①庁内ワーキンググループでは、災害に強く、セキュリティを強化した庁舎。
全ての人に優しく、コンパクトで機能的な庁舎。
住民が気軽に訪れて親しみやすい庁舎。
災害や環境にも優しい庁舎。
業務の精査と議会機能整備した庁舎。
など検討をしている。

また、町民の皆さまからの意見等は、必要な機能や規模などのアンケートや意見交換で、さまざまな観点から、意見を伺いたい。
②現在、6月に「新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交

付金）」の交付申請手続きを行っている。

交付金の決定の後、旧八東小学校等ありかた検討協議会の皆さまや八東地区公民館運営委員、八東まちづくり委員会、関係集落の区長及び公民館長の方々に、施設概要や事業計画を説明する予定で、利用者の意見要望を設計に反映させ、より地域の皆さまに親しまれる施設づくりをしたい。
③郡家駅前駐車場の整備はこれから本格的な工事に取掛かる。
郡家駅前周辺整備は、立地適正化計画の中での検討が望ましい。

質問

新庁舎についてのアンケート等の時期は。

答弁 吉田町長

今の段階でいつということとは、差し控えたい。

孤独孤立対策

本町の取組は

町長／普及啓発にも取組んでいる

質問
誰もが安心して生活できるよう、行政の支援が必要になる。本町の取組を伺う。

答弁 吉田町長

地域包括支援センター独自の事業で、70歳以上の独居高齢者の実態把握をしている。
内容は、職員が各家庭を訪問し生活状況の確認や、支援が必要かどうか、親族や隣人などについて聞き取りを行っている。
各関係機関が連携して、サービスへ繋ぐ取組、まちづくり委員会や介護予防教室などの集いの場に参加されるよう、普及啓発に取り組んでいる。

質問

地域でのきめ細やかな見守り体制を構築する必要がある。アウトリーチ体制は。

答弁 吉田町長

令和6年度、70歳以上の単独世帯、高齢2人世帯が840世帯ある。包括の方でだいたい1年間かけて400世帯を回らせていただいている。



いつまでも共に支えあうまちに向けて

難聴者支援

補聴器の購入費の助成を

町 長／令和8年度予算に
計上するように進めている



中原 幸恵 議員

質問

昨年の12月定例会で軟骨伝導イヤホンの設置について一般質問があったが、その後の進捗状況と効果は。

答弁

吉田町長

令和7年3月に1台購入し、福祉課の窓口のほうに設置をしている。

現在まで使用希望がなく、貸出しの実績のないのが現状である。

効果は、福祉課に来庁される方は、健常の御家族が代理で来られるケースがほとんどであり、利用がないものと考えている。

どちらかといえば、高齢の方が比較的多く来庁される本庁の町民課等の窓口配置し、利用状況を検証してみたいと考えている。

質問

社会の高齢化の進行に伴い、難聴の方も年々増加している。実際、

高齢者が難聴になると、人や社会とのコミュニケーションを避けがちになり、社会的に孤立する可能性も高くなると言われている。

町の健康診断で聴力測定を行うべきと考えるが。

答弁

吉田町長

聴力測定の実施は、現時点では難しいというふうに考える。事業団とお話をさせていただいているが、人の確保、静かな環境の確保が難しいと伺っている。

結果として、その事業団の皆さん方と話は継続してさせていただけたらしめる。

聴力の低下は、心理面や認知面の低下にもつながると言われており、その機能の維持や低下の予防は、フレイルのみならず、閉じこもりや認知症予防にもなると考える。

町は、フレイル予防の取組として、昨年度から、高齢者のための

耳鼻科受診の目安が分かる、「聞こえのセルフチェック」のチラシを作成し、ホームページでの掲載、保健センターの窓口やまちづくり委員会等の通いの場での配布を行い、ヒアリングフレイル予防対策として啓発活動を行っているところである。

質問

難聴になると、耳から脳に伝達される情報量は、極端に少なくなり、認知症発症リスクが高くなると言われている。

この難聴支援として補聴器の活用は大変に重要なことであると考ええる。

そこで、高齢者が補聴器を購入する際の購入費用の助成制度の創設を求めるが。

答弁

吉田町長

令和8年度の予算に向けてどういった形がいいのかと思うが、予算の計上する形で進めている。



町民課に設置された軟骨伝導イヤホン

防災減災

平時の取組や避難所運営の問題点等は

町長／防災訓練や関係機関との連携強化だ



尾島 勲 議員

質問

防災減災に繋がる平時の取組、防災マップの機能、防災教育、避難所運営の問題点等について町長及び教育長の見解は。

答弁

吉田町長

「八頭町地域防災計画」にある、災害時に取るべき行動、防災知識や防災意識の普及啓発、防災訓練の実施、食料物資の備蓄、関係機関との連携強化を行い、自宅の災害リスクの軽減、避難経路の確認など防災マップを活用し、防災学習会、町報、ホームページなどで周知啓発を行っている。

答弁

藪田教育長

児童生徒への防災教育は、各学校で安全教育年間計画に沿った計画で行われ、教科学習で、4年生「自然災害からくらしを守る」、5年生「自然災害を防ぐ」で、防災減災について学んでいる。

質問

平時における各避難所の通信環境の再点検や、衛星通信環境の整備が今後必要ではないか。

答弁

吉田町長

話は分からないでもないが、今のところLINEの公式システムを来年度実施予定で、QRコードの読み取り対応を考えている。

質問

令和5年8月の台風7号豪雨により、指定避難所になっている下私都地区福祉施設などは、内水反乱により施設の周り一帯が水浸しになり避難できなかった。

避難できない指定避難所が実在することへの見解は。

答弁

吉田町長

2年前は突発的なことで間に合わなかった。先回のことを教訓に再チェックし、改修改良を考える。

質問

防災マップにQRコードを表示し、過去の被災状況や被災体験を今後の防災減災に繋げてはどうか。

答弁

吉田町長

令和8年度、現在の防災マップを修正する。QRコードで過去の事例が見えることは大事だ。土砂災害警戒区域の反映ができれば良い。検討する。

質問

避難所運営ゲーム（HUG）とか簡易型災害図上訓練（DIG）は、小学校高学年や中学生は取組むことが出来ると思うが。

答弁

藪田教育長

学校現場がどんな見解を持つかわ確認したいが、カードゲームが有効だということは分かっている。検討したい。

質問

令和5年8月の台風7号による豪雨災害では、町内初の警戒レベル5の緊急安全確保が発令された。

避難所運営に問題点は無かったか。

答弁

吉田町長

県道が寸断され、物資の運搬に時間を要したことが問題だった。

質問

議会と執行部、お互いの業務継続計画（BCP）は繋がっているか。

答弁

吉田町長

議員と連携を取るとの記載がある。基本的には一致していて、目的は一緒だと思う。



上峰寺橋を越流する私都川（R5,8,15）

議会モニターさん紹介

福本 揚子 さん

地元愛

生まれも育ちも船岡で、町のことに気づっぱりだった父親の後ろ姿を見て育ちました。気がつけば私も父と同じようなことをしています。「地元愛」のDNAは確実に受け継がれているようです。動けば動くほど、ますます地元八頭町が好きになっていく。そんな日々です。



モニター会議の様子

議会への思い

日頃から議会の存在は大きなものと認識しています。地域活動をしている立場として、また税金を払っている一住民の目線で、僭越ながらお役に立てればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

議会の傍聴をしてみませんか

本会議はケーブルテレビで生中継しています

なお、定例会の本会議はインターネット（ユーチューブ）配信もしています



TEL 0858-72-3975 FAX 0858-72-2641 (議会事務局)

八頭町議会

検索

議会、議会だよりに関するご意見、ご要望をお寄せください。

編集後記

9月5日（金）から18日（木）の14日間の日程で、第7回八頭町議会9月定例会が開催されました。9月定例会は決算審査議会であり、今定例会においては、令和6年度予算について決算審査を行い、それをいかにして令和8年度当初予算に反映させるかと言う、とても大切な議会があります。皆様の暮らしに直結するまちの施策について、今後とも慎重に審査してまいります。住民の皆様におかれましては、今後も議会へのご理解、ご支援を宜しくお願いします。

（記：尾島 勲）

編集委員

委員長	田中 俊光
副委員長	奥田のぶよ
委員	森 亜紀子
委員	尾島 勲
委員	岡嶋 正広
委員	矢部 啓祐
委員	灘口 茂郎